

ロシア国立アルタイ大学、タタルスタンがん研究所、カザン連邦大学からの使節団が来訪されました。

平成30年1月18日、金沢大学の「大学の世界展開力強化事業（ロシア）」の招聘により来日された使節団が来訪されました。ロシア国立アルタイ大学からは Shapoval 教授ら5名、タタルスタンがん研究所からは Hayrullin 主任医師ら2名およびカザン連邦大学からは Filina 博士ら5名がお越しになりました。本事業は、安倍首相とプーチン大統領が交わした8項目にわたる合意文章に端を発し、教育・研究交流の促進を通して日露関係を成熟させることを目的とするもので、初めての試みとなります。

当日は、高橋教授から本研究所の概要説明と研究紹介後、西村助教による所内案内、鈴木副所長との懇談、上野助教による研究紹介を行い、最後に、3大学等と本研究所の国際共同研究の連携について議論しました。

高橋教授は、昨年12月にカザン連邦大学、タタルスタンがん研究所、サンクトペテルブルグ医科大学およびサンクトペテルブルグ大学を訪問しました。今後、サンクトペテルブルグ医科大学との交渉を中心に本事業の推進に関わる予定です。本事業を契機としてロシアのアカデミアとの関係が深まることを期待します。

